

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> <p>「生活のここちよさが、生きるここちよさになる」という理念を事業所で作っている</p>	○	常に自分だったらという考えでその人らしく生活できるように考えている
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> <p>常日頃、話し合いの場を作るようにしている</p>	○	連絡ノートなどで、日々共有できる努力をしている
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p> <p>運営推進会議や地域の行事を通して伝えるようにしている</p>	○	認知症とは何ぞやということから、伝えるようにしている
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> <p>散歩の際のあいさつ、会話等からよい関係が出来、採れたての野菜をよくいた抱いている</p>	○	顔なじみの関係になりつつあり、気軽に声をかけていただけるよう笑顔で接するようにしている
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> <p>季節の行事(秋祭りや夏の盆踊りなど)に参加し交流を深めている</p>	○	入居の方と一緒に、空き缶拾いなどを再開していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>認知症家族の方の相談を、積極的に受けるようにしている</p>	<p>○</p>	<p>小さな相談から地域の方の不安が軽減できればと考えている</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>していることを再確認することが、この機会であると認識している</p>	<p>○</p>	<p>でてきた改善点を、みんなで共有し質の向上をはかりたい</p>
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者の近況報告をパワーポイントでお伝えし、外部評価については印刷し、お配りし、説明している</p>	<p>○</p>	<p>マイナスイメージなるものにも、積極的なかわりが出来るように伝えていきたい</p>
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村の職員は移動があるが、共に学ぶ姿勢がありいろいろなアドバイスを受けている</p>	<p>○</p>	<p>GH宮若を昨年度より立ち上げているので、勉強会が質の向上につながることを期待したい</p>
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>家族会・運営推進会議・面談の際、説明している</p>	<p>○</p>	<p>研修会や自己研鑽を通して、より深く伝えて行ければと考える</p>
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束はもちろん、言葉による拘束が無いように、なるべく「待って」といわないようにしている</p>	<p>○</p>	<p>チームワークの中で、職員間でお互いをいたわる気持ちを大切にしている</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	見学・体験入居を利用者にはしていただき、ご本人が納得され入居されるように時間をかけている	○	不安の中の入居にならないようにしたい
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	日々ご本人が漏らす言葉・家族が伝える言葉・家族会や運営推進会議などでの意見がある	○	よく聞くことを常に考えている
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	笠松の郷だよりを毎月1回発行し、請求書と一緒に家族に送付している。運営推進会議ではパワーポイントを使い近況報告をしている。入居費を頂く際お預かりしているお金の確認をお互いしている	○	状況の変化を正直に伝えていくことを心がけている
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	苦情箱を設置しているが、利用は無く小さなことでも言っていたりするような環境を心がけ、ご家族も職員に言って下さる	○	自分の家族が入居しているという支店でいたい
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	職員から出た意見は「やってみなければ結果はわからない」との考えから、実行しやすいようにしている	○	ひとり一人が責任を持って行動している
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	利用者の状況や季節等、職員の勤務時間を調整している	○	職員の体調管理も考えて勤務調整していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	退職以外に異動はない	○	職員の処遇向上が出来るよう、県や国に働きかけたい
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	本人の意思を尊重し、本人の意欲を重視している	○	日々お年寄りから学ぶ姿勢を大切にしたい
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	何も分からない人ではないことを理解して、利用者に向き合っている	○	ひとりの大切な人としてみる努力をしていきたい
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	全職員が研修に参加できるよう交代で参加できるようにしている。養成校へ通う職員には、勤務の変更・有休等サポートを全職員で行った	○	自己研鑽しながら学ぶ姿勢が大切だと考えている
22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	福岡県グループホーム協議会に入会しており、勉強会に積極的に参加している。他GHとの人事交流により、ケアの質の向上を図っている。又昨年度より、GH宮若の勉強会にも参加している。	○	悩みを打つ開けることも出来る関係を大切にしたい
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	職場の雰囲気が何でも話せる環境である	○	特に新人さんがストレスをためないように気をつけたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者と職員個々の努力や夫頼、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の日々の努力を認めている	○	研修会への参加や資格習得に向けて意欲がもてる処遇にしたい
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。) 開設以来6年を経てきた。開設以来の入居の方				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	どんなことが不安なのか、本人・家族の思いを聴くようにしている	○	コミュニケーション技法を学び対応に努めたい
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	自宅訪問や家族の不安が解消できるようにこまめに相談が受けられるような姿勢でいる	○	何に困ってあるのか不安が解消できるように深読みしていきたい
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症対応のディサービス・宅老所など、必要な支援をかんがえている	○	認知症があっても不安なく利用出来るサービスの利用を提供していきたい
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居をしていただき、ご本人様の思いや他の入居者、職員の思いが伝わってから開始する	○	ご本人・家族が安心できるように関わっていきたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お年寄りのペース、気持ちを大切に共に過ごしている	○	職員がお年寄りから癒されていることに気づくことがある

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	○	どんなに職員が頑張っても、家族にはかなわないことを伝えていきたい
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	○	家族の気持ちにも共感していきたい
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	○	知っている環境に継続してお連れしたい
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	○	関係が悪くならないように、気をつけていきたい
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	○	いつでも相談できる姿勢を伝えている
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
1. 一人ひとりの把握			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	○	良く見守り、そのときの不安な対応が出来るようにしたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話の中から、家族から、手元にある資料等から、把握に努め記録するようにしている	○ 以前の暮らしの中で安心につながることを見つけていきたい
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日一日の様子を記録し、変化ある日はその由、申し送りする	○ 日々変化していく体調や認知症に対して、観察を怠らないようにしたい
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の意向、Faの意向を大切に、スタッフ間で話し合い、計画を作成している	○ ご家族からの積極的な意見が聞こえる介護計画になるようにしていきたい
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとにプランを作るが小さな変化にはショートケアプランで対応している	○ 変化のある状況には、いつも対応できるようにしたい
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を記録し、気づき判断も記入している。ケアプランの見直しに活かしている	○ 記録に残すことで、情報の共有が出来ていると思う
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来る限り要望に応じるようにしている	○ 本人家族が安心できるような支援していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地域の方々の温かい支援が定着してきている</p>	<p>○</p> <p>すこしづづ受け入れていただいていると感謝している</p>
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>GHなので、他の在宅サービスは受けられないが、地域のケアマネとは常に交流がある</p>	<p>○</p> <p>GH宮若が発足し、ネットワーク作りが出来つつある</p>
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>昨年より、宗像市の地域包括センターと、認知症についての勉強会が始まった</p>	<p>○</p> <p>宮若市の職員とのGH宮若を通して勉強会が始まった</p>
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同じ法人の理事長が医師であり、利用者・ご家族から信頼を得ている</p>	<p>○</p> <p>家族と本人が望む医療が受けられるように、医師と連携をとる努力をしている</p>
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>スーパーバイザーに相談できる体制がある</p>	<p>○</p> <p>認知症に詳しい医師にも相談し、適切な対応が出来るようにしていく</p>
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>週に1回訪問看護の看護師による訪問があり、利用者の健康管理をしていただいている</p>	<p>○</p> <p>今後も協働していきたい</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	<p>どうすることで、早くGHに戻る事が出来るのかが課題となっている</p>
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>どこで過ごさうかがご本人にとって最良の方法なのか、考えていきたい</p>
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>家族との話し合いの中で、出来ること、出来ないことを伝え、納得された中で支援をしていきたい</p>
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	<p>そのような場面にならざるを得ないようなときには、十分な情報交換をし、記録に残せるようにする</p>
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	<p>自分がして欲しくないこととしていつも考えられるようにしたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	<p>重度の方には、よりゆっくりと静かに関わるように気をつけている</p>
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	<p>介護者側のペースにならないように気をつける</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	<p>なじみの方に関わっていただけるようお願いしている</p>
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>有用感のもてる働きかけにより、終了したときはお礼を伝える</p>
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>楽しみのある食卓にしたい</p>
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>トイレでの排泄が、いつまでも継続できるよう、援助したい</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	朝からお湯が沸いており、いつでも入っていただくことが出来る	○	不安なく入れるような、むしろ楽しめるような配慮をする
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人が安心できる場所で休息していただき、そのような環境に配慮する	○	どこにいても安心を感じていただけるような居場所をつくる
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来ることに応じての役割作り、それぞれの楽しみごとに応じた暮らしを考えている	○	有用間が感じられるような役割を考える
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小銭での対応や、お札で支払える方と、利用者に合わせて、お金の持ち方使い方をしている	○	生活場面でのお金の所持の方法を工夫している
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	”あてがいぶち”ということは、なるべく避けている	○	いつまでも外の空気を感じていただきたいと思う
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	職員で出来ないことには、家族が支援して下さる	○	家族の方との交流が、利用者にとって一番であるので、継続していただきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の言われたことが伝わるように、職員が伝えている	○	認知症が進まれても感情が豊かになっていることを伝えていきたい
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	定期的に来られている家族・遠方の家族や友人がゆったり訪問できるような雰囲気を出している	○	食事時に来られた方には、一緒に食べていただくことを心がけている
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常に相手の立場で考えている	○	考えたことを行動に移している
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	開設当初より、心がけている	○	これからも同じ考えである
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	報連相で、勤務者が気をつけている	○	自然な流れができていて、職員間のチームワークを大切にしたい
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人一人の状態、認知症の進行に合わせて、高さや敷物の厚みなどに配慮している	○	安心で安全な暮らしはどうかと考えている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> <p>連絡ノートやミーティング・口頭での申し送りなど良く話し合っている</p>	○	<p>事故につながらないように、職員間で話し合うことを心がけている</p>
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> <p>併設病院の勉強会に参加し学んでいる</p>	○	<p>常に学んでいきたいと考える</p>
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> <p>町内会の方にご協力お願いしている</p>	○	<p>家族連絡網で家族の方にも協力してもらっている。さらに協力者を増やせるようにしたい</p>
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> <p>自由であることとリスクを常に考えている</p>	○	<p>もっとリスクが高くなると思えるときは、家族と話し合いより良い方法を考えるようにする</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>体調の変化時は、管理者に連絡し、必要な場合は医師から指示していただくようにしている</p>	○	<p>いつもと何か違うというサインを見逃さない努力をしている</p>
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>新しい薬を飲まれるときは薬局より、薬剤説明書を頂いて確認するようにしている</p>	○	<p>誤薬・副作用が無いよう常に気をつける</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	薬だけに頼らず、寒天ゼリーやヨーグルト・牛乳等で対応している	○	便秘にならないように、常に工夫したい
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	うがいや歯磨きで対応している	○	残渣物がいつまでも口の中にならないように、気をつけたい
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な方にはチェック表を作っている	○	食事だけではバランスを保てないときなどには、栄養補給の食品を使っている
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防や対応は適宜行っている	○	予防できるものには、予防で対応できるように努力する
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、付近やまな板をハイター消毒し、国産の新鮮な食材で料理するようにしている	○	衛生面には常に注意を払っていくことを考えている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	利用者家族から頂いたメダカや季節の花を植え、立ち寄りたくなるような空間作りを心がけている	○	誰でもいつでも来ていただけるような、温かい感じにしたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	生活しているという実感が感じれるGHにしたい
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	○	安心できる空気を大切にしたい
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	好きなものや大切にしているものは、おいて安心感を得て欲しい
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	○	失禁には迅速に対応できるように、これからも行って行きたい
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	自立支援とは何かを考えて行きたい
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	ひとり一人が混乱されない工夫が必要になってくるとされる
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	外に出るといろんな花が楽しめるようにしている

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。) 開設以来6年を経てきた。開設以来の入居の方は、認知症の進行の為、寝たきりとなられたりしている方もいらっしゃるが、その方が安心して安楽に過ごせるにはと、日々考えながらケアをしている。認知症になられた方がその人らしくを目標に、職員全員で一日の流れを利用者様に合わせることにしている。自分だったらとの考えで、家族とのコミュニケーションにも、力を入れている。ここで暮せてよかったと、思っただけのような過ごされ方を、目標にしている。